

扱い

ラジオ・テレビ  
新聞

令和5年11月2日

17時

令和5年11月3日付

朝刊

解禁

事前配布

報道発表



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

令和5年11月2日

令和5年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る  
文部科学大臣表彰の被表彰者が決定しました

文部科学省では、障害者の生涯を通じた多様な学習を支援・実践する活動及びその活動を行う個人又は団体について、活動内容が他の模範と認められるものに対し、その功績をたたえ文部科学大臣表彰を行っております。

このたび、本年度の被表彰者が決定しましたので、お知らせいたします。

1. 受賞者：

功労者表彰 45件（うち個人7件、団体38件）

奨励活動表彰 6件

※詳細は別紙のとおり

2. 表彰式（予定）：

（日時） 令和5年12月12日（火）13:00～13:30

（場所） 文部科学省東館3階第一講堂

（開催方法） ハイブリット開催

※表彰式は、オンラインでの開催を基本としますが、被表彰者で会場での参加を希望する方は、御来場が可能です。

<担当> 総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課  
障害者学習支援推進室 五十嵐、今井、石橋  
電話：03-5253-4111（内線3613）

## 令和5年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 被表彰者等一覧

番号	推薦者名	被表彰者	読み仮名	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
1	北海道	音訳グループ 旭川本の会	おんやくぐーぶ あさひかわほんのかい	功労者	41	約40年前から旭川市中央図書館と協力して、視覚障がい者など、図書館の活字資料の利用が困難な方を対象に、その利用の便宜を図ることを目的として活動を行っている。これまでに2,600以上の録音図書を製作し、それら全てを図書館の蔵書としてきた。その他にも、利用者の要望に応え対面音訳（朗読）を随時実施するなど、早くから読書バリアフリーの推進に取り組んでいる。	情報保障	視覚障害者
2	北海道	新ひだか町 ライディングヒルズ静内	しんひだかちょう らいでいんぐひるずしず ない	功労者	22	当該施設は、日本有数の馬産地にあるという特性を生かし、長年にわたり、新ひだか町内にある特別支援学校や障害福祉サービス事業所等と連携し、障がい者乗馬支援に取り組んでいる。また、年に一度「障がい者乗馬大会」を実施し、日頃の乗馬の成果を発表する機会を提供している。当該施設を利用する障害福祉サービス事業所の職員などを対象に、騎乗者に最も近いところで活動に関わり、馬の横で騎乗者への適切な介助や支援を行うサイドウォーカーのための講習会も行っている。	学習 スポーツ	すべて
3	青森県	山田 金治	やまだ かねはる	功労者	27	自身の経験を生かしながら、身体障害者福祉の活動や障害者同士の交流・絆づくりを大切にしたい学び合いの環境整備に携わっている。障害者同士や障害者と健常者が共に学び、共に楽しむことができる障害者スポーツ活動の支援と普及啓発を行い、身体障害者の体力向上や活力の増進だけでなく、地域住民が一体となった運営体制づくりや学び合いの環境整備に大きく貢献している。	スポーツ 普及啓発	身体障害者
4	岩手県	岩手県知的障がい者 ソフトボール協会「いわてスマイリーズ」	いわてけんちてきしょうが いしや そふとぼーるきょうかいい わてすまいりーず	功労者	12	「いわてスマイリーズ」は、知的障がい者を対象とした男女混合のソフトボールチームである。ソフトボールという団体競技を通して、仲間と協力し、活動する楽しさを味わいながら、体力の保持増進、将来の社会参加及び自立に向けて基本的な規律や社会に適応するためのマナーなどを学び、健全な態度を育てるため、様々な協力団体と連携しながら活動している。	スポーツ 普及啓発	知的障害者
5	岩手県	デージー岩手	でいじーいわて	功労者	24	デジタル録音図書編集奉仕を通じて、視覚障がい者の文化・教養の向上に寄与するとともに、会員相互の研修及び親睦を図ることを目的として、平成11年に設立されたボランティア組織である。視覚障がい者の読書環境整備推進のため、岩手県立視聴覚障がい者情報センターの録音図書（デジタル録音図書）の編集活動及び製作するためのボランティア養成に携わっている。	文化芸術 情報保障 普及啓発	視覚障害者
6	宮城県	手話小さな勉強会	しゅわちいさなべんきょう かい	功労者	34	聾啞者と健常者が所属する社会教育関係団体で、月2回の定例会での手話の学び合い、公民館や小学校等との機関と連携した福祉学習の機会を提供している。また、福祉イベントに限らず多様なイベントに参加し、聾啞者への理解を深める活動を行っている。	学習 文化芸術 情報保障 普及啓発	すべて
7	秋田県	特定非営利活動法人 逢い	とくていひえいりかつどう ほうじん あい	功労者	16	地域で生活する障害児者に対して、多様な主体と連携しながら創作活動やスポーツ活動、学習会等を行い、地域社会との交流促進を図っている。ノーマライゼーションの理念に基づき、障害の有無に関わらず誰もが生きがいを持って生活できるよう「自立と共生の地域社会づくり」を目指している。	学習 文化芸術 スポーツ	主として知的障害者

令和5年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 被表彰者等一覧

番号	推薦者名	被表彰者	読み仮名	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
8	秋田県	Chain_of_Smiles_Project ～スポーツを通して秋田の豊かさを体感しよう～	ちえーん・おぶ・すまいるず・ぶろじえくと～すぽーつをとおしてあきたのゆたかさをたいかんしよう～	奨励活動	4	秋田県内の障害者スポーツに関わる医療従事者（医師、理学療法士、作業療法士、ボランティアスタッフ等）で構成された団体が中心となり、秋田県内在住の障害者及びその家族を対象に、多様なスポーツに参加する機会を提供している。障害者の社会参加やコミュニケーションを図るとともに、活動を通じて障害の有無に関わらず身近にスポーツを楽しめる社会の実現を目指している。	スポーツ	主に身体障害のある方
9	山形県	ぎやらりーら・ら・ら	ぎやらりーら・ら・ら	功労者	12	障がいのある方の芸術活動の発信と人材交流の場として、企画展やトークイベント、ワークショップなどを年間を通して開催し、地域に開かれたギャラリーとして活動している。月に一度、オープンアトリエを実施し、自由な創作活動や感想を述べあう交流の支援を行っている。	文化芸術普及啓発	知的障害者、身体障害者、精神障害者
10	茨城県	声のとも	こえのとも	功労者	45	視覚障害者への情報提供のため、ひたちなか市や社会福祉協議会の発行する広報紙の音訳や、自らのサークルの作成するテーママガジンの作成、依頼を受けた図書や資料の音訳、対面朗読を行っている。近年では、デジタル録音機器の操作の勉強会を開くなど、意欲的に新たな知識の習得に臨んでいるほか、社会福祉協議会の主催する「朗読ボランティア養成講座」の講師として後進の育成にも積極的に活動している。	情報保障	視覚障害者
11	茨城県	龍ヶ崎朗読の会	りゅうがさきろうどくのかい	功労者	36	・視覚障害者への情報提供として、「声の広報等事業」（社会福祉協議会事業）において広報紙の音訳を実施 ・視覚障害者との交流及び外出支援を目的に研修会を実施 ・市内の小学校においてアイマスクガイド指導を行うなど視覚障害者への理解を促進する活動を実施	情報保障	視覚障害者
12	栃木県	朗読ボランティア「ひばりの会」	ろうどくぼらんていあ ひばりのかい	功労者	41	昭和57年に発足し、設立当初から視覚障害者の音訳ボランティアとして活動を開始した。音訳テープ・デージーの作成（市広報誌、市議会だよりの他、市内の店舗を紹介する活動等）により、視覚障害者の日常生活に必要な情報を提供している。また、利用者との交流会の開催や市子ども発達支援センターでの読み聞かせ等幅広く活動しており、視覚障害者の自立や社会参加への支援、生活の充実に寄与している。	情報保障 学習	視覚障害者
13	埼玉県	埼玉県おもちゃ図書館連絡会	さいたまけんおもちゃとしょかんれんらくかい	功労者	37	埼玉県内のおもちゃ図書館活動の情報交換を図るとともに、活動の進展を目的に、研修会や交流会を実施。また、会報を発行し、情報提供や各館の活動状況を共有し、それぞれの「おもちゃ図書館活動」に役立て、障害児者の社会参加の一助を目指す。	文化芸術普及啓発	知的障害者
14	千葉県	コスモスの会	こすもすのかい	功労者	35	・視覚障害者を主な対象とした録音図書の製作 ・身近な話題やお勧め図書を紹介する音声通信の定期的な製作（年間8回） ・成田市立図書館が実施する音訳協力者養成講座と連携した、音訳協力者の養成や技術向上	情報保障	視覚障害者

令和5年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 被表彰者等一覧

番号	推薦者名	被表彰者	読み仮名	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
15	東京都	国立五日制の会	くにたちいつかせいのかい	功労者	31	学校週五日制施行に伴い、国立市において、障害のある児童・生徒、家族の第二、第四土曜日における地域活動を運営している。実施内容は、音楽の広場、わいわいスポーツ、ハイキング、バーベキュー、海水浴など多岐に渡る。	スポーツ 文化芸術	すべて
16	東京都	菅田 政志	すがた まさし	功労者	13	東大和市、国分寺市において障害を持つ人の生涯にわたる学習文化活動を支援している。市内の障がいのある者の交流及び市民との交流を図る場を設け、市内在住の障がいのある若者の、生涯にわたる学習文化活動を支援し、参加者の生活と余暇を豊かにすることを目的とし活動を企画運営している。	学習 文化芸術 スポーツ 普及啓発 ほか	軽度の知的障害の参加者と健全な若者
17	神奈川県	朗読・録音ボランティア野の会	ろうどく・ろくおんぼらんていあ ののかい	功労者	33	年間を通じてプライベートサービス（対面朗読）に従事しているほか、録音図書の作成を主に行っている。また、例年「こどもの読書週間」における一般の人を対象としたアイマスクを付けての対面朗読体験の実施や、視覚障がい者を対象とした朗読会の開催等、啓発活動にも携わっている。	文化芸術 情報保障 普及啓発	視覚障害者
18	富山県	知的障害者楽団ラブバンド	ちてきしょうがいしゃがだんらぶばんど	功労者	28	「明るく 元気に 自立しようぜ!」、「夢は必ずかなうもの」をテーマに、知的な障害のある人と保護者、ボランティアなどでバンド活動を行っている。県内外及び、海外での公演実績は250回を超える。明るく、ひたむきに演奏する姿に、ファンも多い。	学習 文化芸術 普及啓発	知的障害者
19	石川県	松平 洋子	まつひら ようこ	功労者	25	平成10年から手話サークルや要約筆記サークルなどのボランティアサークルに所属し、聴覚障害者協会が主催する映画上映会や講演会の運営協力をするなどの取り組みを行ってきた。平成16年に石川県、白山市において手話通訳者、要約筆記者として登録し、以来20年余にわたり、手話を母語とするろう者や手話がわからない難聴者の生涯学習の様々な場面において、情報保障を行ってきたほか、手話奉仕員養成講座の手話通訳や要約筆記者養成講座講師を担い人材育成にも尽力してきた。	学習 文化芸術 情報保障	聴覚障害者
20	福井県	あとりえ風	あとりえふう	功労者	13	福井県内の特別支援学校等の卒業生を中心に、文化芸術分野の余暇活動として月に1回の「アート教室」や福井市美術館にて年1回の作品展を開催している。また、越前町の施設や福井県立美術館の喫茶店にて常設展示も行っている。毎月継続して活動することにより、地域の障がい理解啓発にも寄与し、また作品展の開催により参加者の自己肯定感や自己有用感を高めることにもつながっている。	文化芸術	知的障害者、発達障害者
21	静岡県	特定非営利活動法人静岡県FIDサッカー連盟	とくていひえいりかつどうほっしんしずおかけんえふあいでいさつかりんめい	功労者	24	障害者に対し、スポーツに関する事業を行い、社会参加促進に寄与することを目的としている。そのために、「知的障害者のサッカー競技普及に関する事業」「知的障害者の選手、チーム、指導者、レフリーの育成に関する事業」「国際大会を含む障害者のサッカー大会の開催、運営に関する事業」「障害者サッカーの広報及び他団体との連携に関する事業」「スポーツ施設の管理、運営に関する事業」を行っている。	スポーツ 普及啓発	知的障害者

令和5年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 被表彰者等一覧

番号	推薦者名	被表彰者	読み仮名	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
22	滋賀県	特定非営利活動法人YASUほほえみクラブ	とくていひえいりかつどう ほうじんやすほほえみくら ぶ	功労者	20	幼児からシニア層まで「スポーツを通じて、すべての人々が幸福で、豊かな生活を営むことができる社会」を目指し、行政・関係団体・スポーツ少年団等と連携し、ジュニア、シニア、障がい者が参加しやすい枠組み作りに取り組んでいる。障がい者スポーツ事業では、なかよし交流館を拠点に余暇活動支援活動や、平成25年からびわ湖若鮎駅伝（障がい者を対象とした駅伝大会）を開催している。	スポーツ	すべて
23	京都府	吉岡 光義	よしおか みつよし	功労者	13	社会福祉法人久美の浜福祉会「かがやきの杜」での絵画講師、障害者の作品展示の企画・実施のほか、障害の有無や福祉の分野に捉われず、まちじゅうを美術館にする「TANGOまるっぽ美術館」実現のため、丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会代表として日夜活動を行っている。	文化芸術	すべて
24	京都府	宮津障害者青年学級運営委員会	みやづしょうがいしやせい ねんがつきゅううんえいいん かい	功労者	50	昭和48年の開設から50年にわたり障害のある青年・成人の方に学習の場を提供するとともに、情報交換や仲間づくり等を行う機会を設けることによって社会参加を促すことを目的に、さまざまな事業に取り組んでいる。スポーツや調理、陶芸、生け花、手芸等の活動のほか、交流の場である「サロン」の開催や、遠足、クリスマス会等のイベントの開催、また京都府北部地域青年学級交流会の実施により近隣地域との交流も深めている。	学習 文化芸術 情報保障 スポーツ	すべて
25	大阪府	Dance Assemble アマカマ・ドウ	だんすあっせんぶる あまかま・どう	功労者	18	大阪府泉佐野市にて活動を開始し、現在は泉州地域にて、月に2～3回の頻度でダンス活動を行っている。具体的なダンス内容は、参加者の自発性や創造性を尊重した即興ダンスと創作ダンスを主としている。地域・教育・福祉・医療等の講演会や行事等にて参加発表も積極的にを行い、参加者のモチベーション向上にもつながっている。身体や動きを介した他者とのコミュニケーションを重視した活動は、参加者・関係者の居場所の1つになっている。	文化芸術	すべて
26	兵庫県	手話サークルやまびこ	しゅわさーくるやまびこ	功労者	38	昭和60年の発足から38年間の長きにわたり、聴覚障害者の社会参加にむけて尽力。学習会及びサークル活動を定期的に実施することで聴覚障害への理解を深めるとともに、手話技術の学習会及びサークル活動を通じた手話通訳の技術向上、聴覚障害者の生活支援（なんでも会）、ボランティア連絡協議会を通じたボランティアグループの交流、小学校での体験福祉活動等を実施。また神崎郡内の聴覚障害者が学ぶ身体障害者社会学級「播磨西くすの木学級」における企画立案及び手話通訳活動。	学習 情報保障 普及啓発	聴覚障害者
27	兵庫県	要約筆記ボランティア サークル㊟かんだき	ようやくひっきぼらんてい あさーくるまるよかんだき	功労者	24	サークル学習会を通じた要約筆記の技術の向上、聴覚障害者の生活支援、「サマーボランティア1日入門」、神崎郡内の聴覚障害者が学ぶ身体障害者社会学級「播磨西くすの木学級」における企画立案及び要約筆記通訳活動。さらに、様々な分野のボランティアグループと連携したボランティアまつりの実施による要約筆記の魅力発信や障害者理解の積極的な普及啓発。	学習 情報保障 普及啓発	聴覚障害者
28	和歌山県	チーム・ホエール（障害者陸上競技チーム）	ちーむ・ほえーる	功労者	11	障害のある方とその保護者を対象に、マラソン大会への参加やダイエットなどいろいろな興味から始まった走る活動が、それぞれの特性を活かせるよう陸上競技全般に活動を広げた。さらに、専門性を持った指導者が伝えることで、県大会や全国大会に出場するなどの成果をあげている。また、この活動が年齢や障害種別を超えた交流を育み、参加者の余暇活動にもひろがりを見せている。	スポーツ 普及啓発	すべて

令和5年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 被表彰者等一覧

番号	推薦者名	被表彰者	読み仮名	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
29	島根県	3C「夢」club	さんしーゆめくらぶ	奨励活動	4	3C「夢」clubは、社会教育の場で子どもたちが様々な体験活動を行い、体験力を育むとともに「人・もの・こと」との出会いの中から、将来社会的に自立し、社会を生き抜く力の基礎づくりを目指している。特別支援学級に在籍する小中学生、養護学校の高校生などを対象に、地域住民や多様な団体と連携・協働しながら、様々な教室を開催し、充実した活動を行っている。	学習 スポーツ 文化芸術	すべて
30	岡山県	ふたば教室	ふたばきょうしつ	奨励活動	5	放課後子ども教室「ふたば教室」において、障害のある子供の学校外での学びの支援や体験活動を中心とした取組を行っている。専門的知識を持つ特別支援サポーター等が中心となって、障害のある子供に対して、学習支援、運動、遊びを通じた自立活動等を行う傍ら、保護者に対しても、障害のある子供の子育てについて学んだり交流したりする場を提供している。	学習 スポーツ	すべて
31	広島県	特定非営利活動法人 コミュニティリーダーひゆるぼん	とくていひえいりかつどう ほうじん こみゆにていー りーだーひゆるぼん	功労者	22	2001年より広島市内の企業等と協働し、障がいのある人の公募芸術作品展「アート・ルネッサンス」を主催。この活動を起点として、障がいのある人の表現活動を支援するためのセミナーやサポーターの育成、ネットワークへと発展させてきた。2014年より障害者アートサポートセンターの運営を行い（2016年より広島県からの受託事業）、障害者芸術文化活動の情報発信、人材育成、創作活動等の総合的な支援を行っている。	学習 文化芸術 情報保障 普及啓発 ほか	すべて
32	広島県	三次朗読奉仕者友の会	みよしろうどくほうししゃと ものかい	功労者	46	視覚障害者への情報保障として、市の広報誌等の朗読テープ・CDの作成を中心に活動し、視覚障害者の社会参画を目的とした視覚障害者の交流機会の企画や、系統的な活動とするための朗読ボランティア養成講座の実施、小学校等への出前講座等も精力的・継続的にしている。	学習 情報保障 普及啓発	視覚障害者
33	山口県	山口県手話サークル連絡協議会	やまぐちけんしゅわさーくる れんらくきょうぎかい	功労者	52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の手話サークル間の交流、親睦に関する事業</li> <li>・県内の手話サークル間の情報交換を図るための事業</li> <li>・手話技術の向上、障害者福祉に関する研修</li> <li>・手話及び聴覚障害者への理解を深める活動</li> <li>・関係団体と連携し聴覚障害者の福祉向上を推進する活動</li> </ul>	学習 情報保障 普及啓発	聴覚障害者
34	徳島県	日開野 博	ひがいの ひろし	功労者	29	「徳島車いすテニスクラブ」発足当初より29年にわたり、車いすテニスの指導及びアスリートの育成・支援を行い、選手の競技力の向上に貢献。また、県内の学校で車いすテニスの体験会や講演活動を実施するなど、車いすテニスの普及活動に取り組んでいる。	スポーツ	すべて
35	徳島県	内藤 久子	ないとう ひさこ	功労者	12	12年にわたり、特別支援学校、社会教育施設、地域のカルチャースクールでパッチワークの講師を務め、障がい者の生涯学習の普及・推進に尽力されている。所属しているボランティア団体を通じて、徳島県の芸術祭の主催団体として活動し、障がい者の文化芸術活動の普及発展に取り組んでいる。	文化芸術	すべて

令和5年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 被表彰者等一覧

番号	推薦者名	被表彰者	読み仮名	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
36	愛媛県	オカリナーナあつぷる	おっかりーなあつぷる	功労者	10	障がいのある方々と共にふるさとで明るく楽しく過ごすことを目標として、オカリナを通じて障がいのある方と健常者が交流できるよう日々活動している。各種イベントへの出演や介護施設等での訪問演奏（オカリナ）を実施し、毎月2回の練習日には、障がいのある方に配慮した練習方法を用い練習に励んでいる。	文化芸術	知的障害者、精神障害者、視覚障害者
37	大分県	特定非営利活動法人 自立支援センターおおい	とくていひえいりかつどう ほうじん じりつしえんせんたーおおい	功労者	21	障がい者が企画・運営の主体となり、行政や民間事業者等と協働して重度の障がいがある方が地域で自立した生活をおくる為の支援を行うと共に、障がい者の権利擁護や地域のバリアフリー化の推進を目的とした様々な普及啓発活動を実施している。さらに、大分県におけるユニバーサルツーリズム事業にも携わり、障がいの有無にかかわらず誰でも積極的に社会参加できるよう施設等のバリアフリー調査及び情報発信、相談対応等も行っている。	学習 情報保障 普及啓発	すべて
38	大分県	藤本 正広	ふじもと まさひろ	功労者	38	障がい児・者を対象にした水泳指導を38年間実施。障がい者水泳クラブ「あすなろ」の設立者として個々の障がい区分に合わせた指導により九州大会や全国大会で入賞する選手を育てている。またクリスマス会や健常児との一泊交流会等を通じて子供たちの心身の成長や障がい理解の機会を提供するとともに、各種団体や協議会の委員として障がいスポーツの振興に尽力している。	スポーツ 普及啓発	すべて
39	宮崎県	子どもと家族・関係者の集まり「ポン太クラブ」	こどもとかぞく・かんけい しゃのあつまり ほんたくらぶ	功労者	17	障がいの有無や障がい種、年齢にかかわらず、当事者やその家族ときょうだいを中心として事業を展開している。主な事業は、絵画教室、学習支援、遊びの体験活動、相談事業などである。ほか保護者同士の情報交換会や外部講師を招いた学習会を他団体や大学等と協働で開催している。	学習 文化芸術 普及啓発	すべて
40	宮崎県	手話サークルえびの会	しゅわさーくるえびのかい	功労者	45	昭和53年に設立以来、長期に活動を継続している。手話講習会を毎週1回開催。また、2018年4月より「えびの市心をつなぐ手話言語条例」に基づき「手話は言語である」ことの認識を持っていたけように学校や病院、事業所等へ出向き手話教室の開催等普及活動を行っている。	学習 普及啓発	聴覚障害者
41	熊本市	大城組の巨匠たち	おおきくみのきよしょうたち	功労者	14	「大城組の小さな巨匠たちの会」は福岡と熊本の特別支援学校・特別支援学級に在籍した子どもとその保護者を中心に構成した団体。2009年に発足し主に絵画や書、詩などの作品制作と、作品展開催を通じ支援の必要な子ども達の社会参加の場の拡大と、社会へ正しい啓発のメッセージを伝えることを目的として活動。子どもたちが社会人となり、2018年度より団体名から「小さな」を抜いている。	学習 普及啓発	すべて
42	全国特別支援教育推進連盟	SACミュージカルカンパニー	えすえいしーみゅーじかる かんぱにー	功労者	21	世田谷区文化財団の支援を得て、シアターラムにおいて、提携公演という形式で2007年から2021年まで2年おきにオリジナルミュージカルを計7回上演した。地域に根差した知的障害者の文化芸術活動を継続している。	文化芸術	知的障害者

令和5年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 被表彰者等一覧

番号	推薦者名	被表彰者	読み仮名	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
43	全国特別支援教育推進連盟	特定非営利活動法人神辺育成会	とくていひえいりかつどう ほうじん かなべいくせい いかい	功労者	29	神辺育成会は、知的障害、発達障害がある人たちの余暇活動を推進するため、1994年に神辺町内の6つの団体が一つにまとまり結成された。障害のある人が地域であまりまゑに安心して暮らせるように、本人や親・賛同者たちと共生社会の実現を目指し様々な活動（ボランティア清掃活動、ダンス、ミニ運動会、研修会等）を行っている。	学習 スポーツ	知的障害者
44	全国特別支援教育推進連盟	障がい者サポーターズGolazo!	しょうがいしやさぽーたー ず ごらっそ	奨励活動	4	本会が主催し、地域の大学・企業・プロスポーツチーム（バガルタ仙台）や各自治体の協力のもと、宮城県内各地を巡回しながら月に一度程度県内の特別支援学校・学級の児童生徒・卒業生・保護者を対象に、スポーツを通じた共生社会の実現に向けた活動として「インクルーシブスポーツキャラバン」を開催している。障害の有無を問わず参加できるプログラムにより特別支援学校以外からの児童生徒、保護者の参加者も多く、大学生も運営に加わっている。また、成人した障害者もボランティアスタッフとして積極的に参加しており、地域における障害への理解拡大も目指している。毎回50名程度の障害者が参加している。	学習 スポーツ 普及啓発	すべて
45	全国特別支援教育推進連盟	訪問カレッジ@希林館	ほうもんかれっじ あつと まーく きりんかん	奨励活動	11	(1)重症心身障害児・者への支援事業 (2)重症心身障害児・者への支援者の育成事業 (3)重症心身障害児・者の支援に係る人材の開発事業 (4)相談支援事業	学習 普及啓発	医療的ケアを必要とする重度障害者
46	障害者の文化芸術を推進する全国ネットワーク	仲間づくりの教室運営委員会	なかまづくりのきょうしつう んえいいんかい	功労者	46	仲間づくりの教室は1977年（昭和52年）より、大阪市委託事業「障がい者交流学習事業」として実施。現在では参加者を8グループに分け、開講式・閉講式含めて年間21日開催している。教室の内容に応じて府内支援学校教員等の指導員の協力のもと、創作・運動の教室を実施している。	学習 文化芸術 スポーツ	知的障害者
47	公益財団法人日本パラスポーツ協会	特定非営利活動法人日本障害者ゴルフ協会	とくていひえいりかつどう ほうじんにほんしょうがい しやごるふきようかい	功労者	32	障害者ゴルフの普及と親交を行い、ゴルフを通じてバリアの無い社会環境づくりに寄与することを目的としている。障害者ゴルフの競技会の開催、ゴルフレッスン会の開催、ルール講習会の開催、指導者養成などの活動を行っている。	スポーツ 普及啓発	身体障害者
48	公益財団法人日本パラスポーツ協会	特定非営利活動法人日本身体障害者野球連盟	とくていひえいりかつどう ほうじんにほんしんたい しょうがいしやきゅうれ んめい	功労者	30	我が国の障害者野球の普及・振興を図り、もって身体障害者の心身の健全な発展に寄与している。全日本身体障害者野球大会や選抜全国大会をはじめ、全国大会、ブロック大会の開催、奨励、指導者講習会・審判講習会の開催など、国内外の障害者野球に関する情報収集、用具の改良、研究などを行っている。	スポーツ 普及啓発	身体障害者



令和5年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 被表彰者等一覧

番号	推薦者名	被表彰者	読み仮名	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
49	国立大学法人 宇都宮大学	認定特定非営利活動法人もうひとつの美術館	にんていとくていひえいりかつどうほうじんもうひとつのびじゅつかん	功労者	22	本会は栃木県那珂川町の里山に建つ明治大正の面影を残す旧小口小学校の校舎を再利用して2001年に開設された美術館です。障害のある人の芸術活動を支援しながら、[みんながアーティスト、すべてはアート]をコンセプトに年齢・国籍・障害の有無・専門家であるなしを超え、アートを核に地域・場所や領域をつないでいく活動を行なっています。自発的な表現活動から、誰もが豊かな人生を楽しむ共生社会の実現を目指しています。	学習 文化芸術 情報保障	すべて
50	目白大学	特定非営利活動法人障害者就業生活支援開発センター GreenWork21	とくていひえいりかつどうほうじんしょうがいしゃしゅうぎょうせいかつしえんかいはつせんたーぐりーんわーくにじゅういち	功労者	19	被推薦団体は、特別支援学校の進路指導担当教員、就労支援機関、障害者雇用企業等と連携を図り、特別支援学校卒業後の障がい者に対する就業・就労生活の支援と研究活動を行うNPO法人である。特に、知的障害特別支援学校の卒業生に対する生涯学習支援、障がい者と大学生との交流機会の提供、及び特別支援教育・障がい者の就労に関する研究会・研修会の開催等に積極的に取り組んでいる。	学習 情報保障 普及啓発	知的障害者
51	長崎国際大学	長崎国際大学ピア・サポート学生組織による活動	ながさきこくさいだいがくびあ・さぽーとがくせいそしきによるかつどう	奨励活動	5	ピア・サポートとは、障がいなどを理由に修学上の困難がある学生を同じ大学に在籍する学生がサポートする仕組みであり、ピア・サポートを提供する学生をピア・サポーターという。長崎国際大学では、2018年度にピア・サポート学生組織が結成され、授業中の情報保障を中心にさまざまな活動に取り組み、障がいのある学生などの円滑な修学生活に寄与している。また当該組織には、本活動の理解・啓発の促進を図るために中心的な役割を担う執行部があり、そのメンバーは関係教員らと協力しながら、啓発活動や支援技術の向上を目的とした研修会の企画・運営などを行っている。	情報保障 普及啓発	すべて

## 「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰要項

平成29年5月9日  
文部科学大臣決定  
平成30年10月16日一部改正  
令和元年5月31日一部改正  
令和5年5月24日一部改正

### 1 趣旨

この要項は、障害者が生涯を通じて教育やスポーツ、文化などの様々な機会に親しみ、豊かな人生を送ることができるよう、障害者の生涯を通じた多様な学習を支援・実践する活動（以下、「障害者の生涯学習支援活動」という。）について、その内容が他の模範と認められるものに対し、その功労・功績をたたえ文部科学大臣が行う表彰に関して必要な事項を定める。

### 2 表彰の種類

表彰の種類は次のとおりとする。

- (1) 「障害者の生涯学習支援活動功労者表彰」（以下、「功労者表彰」という。）  
これまでの長期に渡る活動の功績を讃えるもの。
- (2) 「障害者の生涯学習支援活動奨励活動表彰」（以下、「奨励活動表彰」という。）  
活動に顕著な成果があり、今後の発展や他への普及が大いに期待されるもの。

### 3 表彰の対象

表彰の対象は、「障害者の生涯学習支援活動」の普及及び発展のために尽力・貢献し、障害者とその保護者、支援者、専門家等の意見や状況等を反映しつつ、社会教育やスポーツ、文化芸術、情報保障、普及啓発等の分野において、活発かつ継続的に実施される、障害者の生涯学習支援活動及びその活動を行う個人又は団体（以下、「対象」という。）であり、その活動内容が他の活動と比較して顕著に優れ、他の模範と認められるものとする。また、地域の実情や特色に応じ、効果的かつ持続可能な活動が行われていることを要する。ただし、学校における教育課程内の活動や障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三号）に基づく障害福祉サービス内での活動及び児童福祉法（昭和二十二年法律第百六十四号）に基づく障害児通所支援内での活動、財政的援助をしたに過ぎない活動や個人の公務員が職務として実践した活動は、対象としないものとする。

#### (1) 功労者表彰（個人、団体）

引き続き10年以上、「障害者の生涯学習支援活動」の普及及び発展のため

めに尽力し、顕著な成果を上げた個人又は団体（社会教育施設や社会教育関係団体、スポーツ団体、文化芸術活動を行う団体、社会福祉法人、特定非営利活動法人、学校、企業等）を対象とする。

## （2）奨励活動表彰（活動）

「障害者の生涯学習支援活動」について、独創的な実践により顕著な成果を上げ、3年以上の継続性を持って実施されているとともに、今後もその成果や発展が期待される活動を対象とする。

## 4 被表彰対象候補の選考

文部科学省は、上記3を満たす対象のうち、上記2の各表彰にふさわしいと判断するものについて、被表彰対象候補とすることができる。被表彰対象候補の選考にあたっては、都道府県及び指定都市（以下、「都道府県等」という。）に推薦依頼を行うものとする。

### （1）都道府県等における推薦

#### ① 方法

都道府県等は、上記3を満たす対象を文部科学大臣に推薦することができる。都道府県等は、教育部局に限らず、庁内のスポーツ、文化、福祉、労働部局等と密に連携しつつ、管下の市町村とも協力し、民間団体等が行う活動を含めて、幅広く域内の取組を把握した上で、推薦を行うものとする。

推薦にあたっては、別紙の推薦様式に推薦の理由等を記載し、文部科学大臣に提出するものとする。

#### ② 推薦数

都道府県等は、域内の対象のうち、都道府県にあつては上記2の各表彰の対象を合わせて2件以内（ただし、特別区を含む東京都にあつては合わせて2件以内の推薦分をこれに加えることができる。）、指定都市にあつては上記の2の各表彰の対象を合わせて1件を推薦することができる。なお、上記2の各表彰のいずれを推薦するかは各都道府県等において判断するものとする。

### （2）その他

文部科学省は、上記に基づく都道府県等からの推薦のほかに、学識経験者及び関係機関の意見等を参考に、表彰するにふさわしいと判断する対象を、被表彰対象候補に加えることができる。

## 5 被表彰対象の審査及び決定

文部科学大臣は、上記4により推薦された対象について、学識経験者等の意見を聞いて審査を行い、被表彰対象を決定する。

## 6 受賞歴について

当該表彰の同一の事由による受賞は1回限りとする。ただし、他の表彰等の受賞歴は問わない。

## 7 欠格事由

功労者表彰の被表彰対象候補となる者及び奨励活動表彰の被表彰対象候補となる活動をする者が、次の各号のいずれかに該当する場合は、被表彰対象となることができない。

- (1) 刑事事件に関して、現に起訴されている者又は刑に処された者（刑の消滅したものを除く。）
- (2) その他被表彰対象とすることが適当でないと思われる者

## 8 表彰の期日等

文部科学省において別に定める。

## 9 表彰の取消

次に該当する場合は、表彰を取り消すことができる。

- (1) 被表彰対象に関する推薦書に不実な記載があると判明したとき。
- (2) 被表彰対象において、本表彰の趣旨を損なう行為があったとき。

## 10 本表彰にかかる事務

本表彰にかかる事務については、関係局課の協力を得て、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課障害者学習支援推進室において処理する。

## 11 補則

その他表彰の実施に必要な事項は別に定める。

### 附 則

- 1 この決定は、平成29年5月9日から実施し、平成29年度の表彰から適用する。

### 附 則

- 1 この決定は、平成30年10月16日から実施し、平成30年度の表彰から適用する。

### 附 則

- 1 この改正は、令和元年5月31日から実施し、令和元年度の表彰から適用する。

### 附 則

- 1 この改正は、令和5年5月24日から実施し、令和5年度の表彰から適用する。